

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	文化会館管理運営事業	柏崎市	148,506,375	50,000,000	
2	福祉対策措置	元気館管理運営事業	柏崎市	216,987,197	180,000,000	
3	福祉対策措置	学校教育施設管理運営事業	柏崎市	487,845,825	370,000,000	
4	地域活性化措置	保育園運営事業	柏崎市	537,707,376	510,000,000	
5	福祉対策措置	特別支援学級介助事業	柏崎市	62,475,944	50,000,000	
6	福祉対策措置	老人保護措置委託事業	柏崎市	119,401,390	70,000,000	
7	福祉対策措置	高齢者予防接種事業	柏崎市	58,698,395	55,000,000	
8	福祉対策措置	予防接種事業	柏崎市	98,148,105	65,319,000	

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	文化会館管理運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市日石町（柏崎市文化会館アルフォーレ）				
交付金事業の概要		文化会館アルフォーレの指定管理料12ヶ月分。 文化会館アルフォーレの安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業実施のため、指定管理者を指定し、「文化活動の広がり」と底上げを図る」、「質の高い活動へと引き上げる」及び「市民との連携を強化する」を基本理念とした文化振興事業を展開し、利用者の誘致、拡大を目指すとともに市民の芸術文化活動の振興と発展を図ります。				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第5章 魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる 2 市民の主体的な文化活動を支援する 施策の目標指標：文化会館アルフォーレ利用者数 164,220人（令和7年度） 目標値：文化会館アルフォーレ利用者数 161,000人（令和4年度）				
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度 令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和4年度	
		文化会館アルフォーレ利用者数	文化会館アルフォーレ利用者数	成果実績	人	111,271
				目標値	人	161,000
				達成度	%	69.1%
		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		本交付金の活用により、文化会館アルフォーレの安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業を実施することができました。令和4年度の入館者数は、111,271人と目標としてきた161,000人に至らなかったものの、古典フェスティバル等の自主事業終了後のアンケートでは、来場者の満足度平均97%と高い評価を得られ、市民の芸術文化活動の振興と発展に寄与しているものと評価します。				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
		機関名：柏崎市文化会館アルフォーレ運営懇談会 構成員：民間による機関のため委員名等非公表 評価内容：S（管理が良好であり、特筆すべき実績・成果が認められる）				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	平常に運営できた日 (開館日数)		活動実績	日	271	296	306
			活動見込	日	308	308	309
			達成度	%	88.0%	96.1%	99.0%
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備 考		
総事業費		140,237,000	138,400,000	148,506,375	平成28～令和4年度総事業費 8,989,991,999		
交付金充当額		50,000,000	50,000,000	50,000,000			
うち文部科学省分		0	0	0			
うち経済産業省分		50,000,000	50,000,000	50,000,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
管理運営業務		随意契約（指定管理）		かしわざき振興財団・新潟照明 技研共同事業体		148,506,375	
交付金事業の担当課室		教育委員会文化・生涯学習課					
交付金事業の評価課室		教育委員会文化・生涯学習課					

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
2	福祉対策措置	元気館管理運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市栄町（柏崎市元気館）				
交付金事業の概要		柏崎市元気館に勤務する保健師等の職員人件費（保健師20名、栄養士3名、歯科衛生士1名、理学療法士1名、保育士3名及び健診担当等職員9名　計37名）12ヶ月分。 本市では、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした、生涯にわたる健康づくりを目指しています。柏崎市元気館においては、元気づくりの推進、子育て支援の推進、相談支援体制の充実等の役割を担い、保健・福祉の総合的な拠点施設として市民に広く認知されています。 本交付金事業では、柏崎市元気館に勤務する保健師等を確保し、安定的な福祉サービスの提供を継続して行うことで、市民の健康維持と福祉の向上を図ります。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画　後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章　健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節　『健やかな』心と体をはぐくむ 1　心と体の健康づくりを進める 目標：元気館利用者数　29,000人（令和4年度）				
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度		
事業期間の設定理由		令和7年度				
		柏崎市第五次総合計画　後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度
		元気館利用者数 29,000人	柏崎市元気館利用者数	成果実績	人	29,491
				目標値	人	29,000
				達成度	%	101.7%
		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		本交付金の活用により、保健・福祉サービスの総合的な拠点施設である元気館で子育て、保健業務に従事するための必要な人員を確保し、安定した施設運営を行うことができました。新型コロナウイルス感染症対策のため、利用制限はありましたが、その中でも必要な対策や代替手段を講じながら元気づくりの推進、子育て支援の推進、相談支援体制の充実を図り、市民の健康維持と福祉の向上に資することができたと評価します。 今後も市民の多様な保健・福祉ニーズに応えるための事業の充実、改善を推進するとともに、これに必要なマンパワーを確保し安定した管理運営を行います。				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
		無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	平常に運営できた日 (開館日数)		活動実績	日	337	337
			活動見込	日	337	337
			達成度	%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備 考	
総事業費		206,605,787	209,944,011	216,987,197	平成28～令和4年度総事業費 1,466,142,283	
交付金充当額		180,000,000	180,000,000	180,000,000		
うち文部科学省分		0	0	0		
うち経済産業省分		180,000,000	180,000,000	180,000,000		
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
人件費		雇用		保健師、栄養士、歯科衛生士、保育士、相談・健診担当職員37名		216,987,197
交付金事業の担当課室		福祉保健部健康推進課				
交付金事業の評価課室		福祉保健部健康推進課				

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	福祉対策措置	学校教育施設管理運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市学校町ほか38件				
交付金事業の概要		柏崎市立小中学校及び学校給食共同調理場の管理運営経費（小学校20校、中学校11校、共同調理場8施設）12ヶ月分。 学校教育施設は、児童・生徒がその発達段階やそれぞれの状況に応じた、適切かつ最善な教育を受けられるよう教育環境を整えることが求められています。 本交付金事業では、学校教育施設の光熱水費等の運営経費及び学校給食業務委託料を確保し、安定的な学校運営を継続的に行うことで、安全で快適な教育環境づくりの実現と安全・安心な給食を提供し、次世代を担う児童・生徒の健全育成の推進を図ります。				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第4章 教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ 3 教育環境を充実させる 目標：児童・生徒約5,200人に対し、快適かつ安定的な教育環境の充実を図ります。 目標値：学校給食満足度アンケート「A評価」70%以上				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		満足度アンケート「A評価」70%以上	共同調理場運営委員会によるアンケート	成果実績	80	
				目標値	70	
				達成度	114.3%	
		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		学校教育施設の光熱水費等の運営経費及び学校給食業務委託料に本交付金を充当することにより、対象39施設において安定的な施設運営と安全・安心な学校給食の提供を行うことができました。新型コロナウイルス感染症拡大や原油価格高騰に伴う光熱水費高騰に見舞われながらも当初予定通りの学校運営日数や給食提供回数の確保ができました。このように適正な学校教育環境を提供し、年間延べ1,133,478食の安全・安心な給食提供を行ったことは柏崎の次世代を担う児童・生徒約5,200人の健全育成の推進に寄与できたものと評価します。				

	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	機関名：学校給食共同調理場運営委員 構成員：小中学校長、PTA役員、保健所長、学識経験者等10名 評価内容：運営委員を対象とした学校給食満足度アンケートではA評価80%となり目標を上回る評価を得ています。					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	学校教育施設を平常に運営できた日（稼働日数）	活動実績	日	206	207	207
		活動見込	日	208	207	207
		達成度	%	99.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	共同調理場を平常に運営できた日（最大稼働日数）	活動実績	日	206	207	207
		活動見込	日	208	207	207
		達成度	%	99.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	提供食数（対象児童生徒数×給食回数）	活動実績	食	1,195,065	1,172,694	1,133,478
		活動見込	食	1,191,555	1,199,608	1,177,053
		達成度	%	100.3%	97.8%	96.3%
交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備 考		
総事業費	414,488,421	429,330,447	487,845,825	平成28～令和4年度総事業費 3,051,025,811		
交付金充当額	354,000,000	360,000,000	370,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	354,000,000	360,000,000	370,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
学校給食業務委託		随意契約（技術提案）		株式会社メフォス		161,990,400
				シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		130,256,280
電気使用料		随意契約		東北電力株式会社		108,527,077
ガス使用量		随意契約		北陸ガス株式会社		46,902,137
L P G使用料		随意契約		株式会社ジェイエイサービス柏		4,007,960
				石塚商店		19,206
				株式会社サイサン		18,513
水道・下水道料		随意契約		柏崎市上下水道局		36,124,252
交付金事業の担当課室		教育委員会教育総務課				
交付金事業の評価課室		教育委員会教育総務課				

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
4	地域活性化措置	保育園運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市学校町（柏崎保育園）ほか12件				
交付金事業の概要		公立保育園の正規職員人件費117名（13園、保育士96名・調理員21名）12か月分。 本市では、少子化の進行や保護者の就労環境の変化等に伴い、子育てを取り巻く環境が大きく変化しています。こうした中、保育園が市民の多様な育児ニーズに応える施設として果たす役割は大きく、適正なマンパワーの確保による安定した運営が求められます。 本交付金事業では、公立保育園（13園）に勤務する正規職員を確保し、安定的な保育サービスの提供を継続的に行うことで、多様な育児ニーズに応える子育て支援を展開し、地域住民の福祉の向上を図ります。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる 目標値：公立保育園定員充足率78.0% ※公立保育園定員充足率：公立保育園入園児童数÷公立保育園認可定員				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		公立保育園定員充足率78.0%	公立保育園定員充足率：公立保育園入園児童数÷公立保育園認可定員	成果実績	%	71.9
				目標値	%	78.0
				達成度	%	92.2%
		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		本交付金の活用により、公立保育園（13園）に勤務する正規職員117名（保育士96名、調理員21名）の人件費を確保し、安定的な保育サービスを提供することができました。定員充足率は目標に達し、適切なマンパワーを確保したことから、園児や保護者にとって安全・安心な保育環境が提供できたものと評価します。次年度も多様な育児ニーズに応える子育て支援を展開し、地域住民の福祉の向上を図ります。				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	保育士・調理員の雇用量 (延べ交付金対象月数)	活動実績	人	1,348	1,436	1,342
		活動見込	人	1,418	1,500	1,429
		達成度	%	95.1%	95.7%	93.9%
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備 考	
総事業費		535,187,127	560,792,525	537,707,376	平成28～令和4年度総事業費 4,023,527,362	
交付金充当額		535,187,127	510,000,000	510,000,000		
うち文部科学省分		0	0	0		
うち経済産業省分		535,187,127	510,000,000	510,000,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
保育士・調理員人件費		雇用		保育士96名、調理員21名		537,707,376
交付金事業の担当課室		子ども未来部保育課				
交付金事業の評価課室		子ども未来部保育課				

Ⅱ．事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
5	福祉対策措置	特別支援学級介助事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市学校町（柏崎小学校）ほか13件			
交付金事業の概要		市立小学校14校に配置する特別支援学級介助員（37名）の報酬（11か月分）及び通勤に係る費用弁償（9か月分）。 本市では、発達障害や知的障害、肢体不自由等のある児童が増加傾向にあり、特別支援学級における教育的な支援のニーズが高まっています。 本交付金事業では、特別支援学級に配置する介助員（37名）を確保し、安定した教育的支援の充実に継続的に行うことで、児童の健全育成を図ります。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第4章 教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ 2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる 目標： 特別支援学級に介助員を配置することにより、日常生活動作の取得支援、学習活動の支援、機能訓練の補助等の個に応じた細やかな教育的支援を行い、児童の自立を支援し、適切な就学環境の確保を図ります。			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度	
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		児童の自立を支援し、適切な就学環境の確保を図ります。	—	成果実績	—
				目標値	—
				達成度	—
		評価年度の設定理由			
毎年度PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					

交付金事業の成果目標及び 成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	特別支援学級介助員37名を確保できたことにより、特別な教育的支援を必要とする児童の心理的安定、個に応じた指導・支援の充実を図り、児童の健全育成の推進に資することができたと評価します。また、担任と連携を図り、児童との信頼関係を築くことができました。 発達障害等への理解が進んでいること、特別支援学級に在籍する児童の障害の程度や様子が様々であること等から、学校での教育活動全般における個に応じた支援がこれまで以上に求められています。こうした中、特別支援学級介助事業に本交付金を充当することにより、各小学校特別支援学級における個に応じた指導・支援の充実や、より適切な就学環境の確保が図られたと考えます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	特別支援学級介助員の雇用量 (年度雇用人数×11か月)	活動実績	人月	363	385	407
		活動見込	人月	363	385	407
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備 考	
総事業費		59,193,258	58,850,138	62,475,944	平成29～令和4年度総事業費 323,378,456	
交付金充当額		50,000,000	50,000,000	50,000,000		
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		50,000,000	50,000,000	50,000,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
人件費		雇用		特別支援学級介助員37名		62,475,944
交付金事業の担当課室		教育委員会学校教育課				
交付金事業の評価課室		教育委員会学校教育課				

Ⅱ．事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名		交付金事業の名称		
6	福祉対策措置		老人保護措置委託事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市大字上田尻（養護老人ホーム御山荘）ほか2件			
交付金事業の概要		在宅生活が困難な高齢者を支援する養護老人ホーム入所措置委託料11ヶ月分。 養護老人ホームは、「身体的、精神的な理由」、「環境上の理由」及び「経済的理由」により、在宅生活が困難な高齢者を支援する入所措置施設であり、低所得者でも安心して生活を送ることができる環境が求められています。 本交付金事業では、養護老人ホームの入所措置委託料を確保することで、安定した事業運営を行い、養護を必要とする高齢者を適切に措置し、生活の安定と心身の健康保持を図り、加えて、地域の高齢者福祉の向上を図ります。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する法令 老人福祉法第11条第1項 交付金事業に関する主要施策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる 2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる 目標： 「身体的、精神的な理由」、「環境上の理由」及び「経済的理由」により、在宅生活が困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置することで、低所得者でも安心して生活を送ることができる環境の確保を行い、生活の安定と心身の健康保持を図ります。また、本事業が地域社会における高齢者支援のセーフティーネットとしての役割を果たすことで、地域の高齢者福祉の向上を図ります。			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度	令和7年度
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで			
		成果目標	成果指標	単位	評価年度
措置者の生活の安定と心身の健康保持を図ります。		—	成果実績		—
			目標値		—
			達成度		—

交付金事業の成果目標及び 成果実績	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、養護老人ホームの運営を安定的に行うことができ、養護を必要とする高齢者を適切に措置することができました。 年度末現在53名の入所者が、安心して生活を送ることができ、生活のリズムが整い、心身の健康保持が図られました。 今後も高齢者のセーフティネットとしての役割を果たし、地域の高齢者福祉の向上を図ります。 過去3年間の入所者数（年度末現在）令和2年度56人、令和3年度55人、令和4年度53人					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	養護老人ホームへの措置人数	活動実績	人	56	55	53
		活動見込	人	64	61	55
		達成度	%	87.5%	90.2%	96.4%
交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備 考		
総事業費	121,327,241	113,119,920	119,401,390	平成28～令和4年度総事業費 846,261,158		
交付金充当額	90,000,000	85,000,000	70,000,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	90,000,000	85,000,000	70,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
老人保護措置委託		随意契約		社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会、社会福祉法人 愛光会、社会福祉法人 光道園		119,401,390
交付金事業の担当課室		福祉保健部介護高齢課				
交付金事業の評価課室		福祉保健部介護高齢課				

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
7	福祉対策措置	高齢者予防接種事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市一円			
交付金事業の概要		高齢者インフルエンザ予防接種業務委託料4ヶ月分。 予防接種法の規定に基づいて実施する高齢者インフルエンザ予防接種事業においては、市が予防接種業務委託医療機関へ委託料を支払う形で高齢者の被接種者負担金の一部を補助し、接種率の向上と安定した事業の実施に取り組んでいます。 また、本事業は市民に広く認知され接種者数も増加傾向にある中、今後は高齢化の進行に伴う事業費の増加が見込まれ、継続的に安定して事業を実施する財源の確保が求められます。 ついては、本交付金の充当により安定的な事業実施を図り、高齢者の感染症り患、まん延を予防することで健康的な市民生活を確保します。			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 『健やかな』心と体をはぐくむ 1 心と体の健康づくりを進める 目標：高齢者インフルエンザ予防接種率 60%（令和4年度）			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度 令和7年度	
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで			
		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和4年度
		高齢者予防接種率60%	高齢者予防接種率：接種者数÷接種対象	成果実績	58.2
				目標値	60.0
				達成度	97.0%

交付金事業の成果目標及び成果実績	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、高齢者インフルエンザ予防接種を安定して実施することができました。令和4年度は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種と並行して接種体制が確保でき、予防接種率は58.2%と目標に満たないものの予防接種に加えて手洗いやマスク着用など感染症対策が万全に行われたこともあり、重篤な症状になりやすい高齢者のインフルエンザり患、まん延を防止し、健康的な市民生活を確保することができたと評価します。 今後も、医療機関と連携し安定した予防接種事業の実施に取り組み、感染症対策による健康被害を最小限に留め、高齢者の健康維持を目指していきます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	高齢者インフルエンザ予防接種数（広域的予防接種（新潟県医師会）及び予診のみ含む）	活動実績	箇所	18,465	16,169	16,138
		活動見込	箇所	16,765	16,725	16,615
		達成度	%	110.1%	96.7%	97.1%
交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備 考		
総事業費	66,680,602	58,274,784	58,698,395	令和2～4年度総事業費 183,653,781		
交付金充当額	45,000,000	55,000,000	55,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	45,000,000	55,000,000	55,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
高齢者インフルエンザ予防接種業務委託		随意契約		柏崎・刈羽管内医療機関41者		58,698,395
交付金事業の担当課室		福祉保健部健康推進課				
交付金事業の評価課室		福祉保健部健康推進課				

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
8	福祉対策措置	予防接種事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市一円				
交付金事業の概要	定期予防接種業務委託料9ヶ月分。 予防接種法の規定に基づいて実施する定期予防接種は、市が予防接種業務委託医療機関へ委託料を支払うことで全額公費負担により実施し、接種接種率の向上と安定した事業の実施に取り組んでいます。また、本事業は市民に広く認知され、少子化に伴い予防接種費用の増額も見込まれる中で継続的に事業実施するための財源確保が求められます。本交付金の充当により安定的な事業実施を図り、感染症のり患やまん延を予防することで健康的な市民生活を確保します。					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	交付金事業に関する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる 目標：予防接種率100%					
事業開始年度	令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度			
事業期間の設定理由	柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度
	予防接種率 60%	接種者数÷接種対象者×100	成果実績	%	44.2	
			目標値	%	100.0	
			達成度	%	44.2%	
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、定期予防接種を安定して実施することができました。 令和4年度より子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨が再開され、本市でも子宮頸がん予防ワクチンの定期接種対象者・キャッチアップ接種対象者に接種券の発送を行いました。他のワクチンと比較して接種率は低いですが、令和3年度と比べると、接種件数は5倍以上に増加しています。今後も、関係機関と連携して安定的な事業実施を図り、感染症のり患やまん延を予防することで、健康的な市民生活を目指していきます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	
	定期予防接種数 (予診のみ含む)	活動実績	件数	9,834	
		活動見込	件数	12,475	
		達成度	%	78.8%	
交付金事業の総事業費等		令和4年度			備 考
総事業費		98,148,105			
交付金充当額		65,319,000			
うち文部科学省分		0			
うち経済産業省分		65,319,000			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額	
定期予防接種業務委託		随意契約	柏崎刈羽管内の25医療機関	98,148,105	
交付金事業の担当課室		子ども未来部子育て支援課			
交付金事業の評価課室		子ども未来部子育て支援課			

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業	柏崎市	67,364,000	50,000,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	田尻保育園整備事業	柏崎市	32,375,200	20,000,000	

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市一円（市道柏崎18-70号線ほか）			
交付金事業の概要		除雪ドーザ11t級1台、除雪ドーザ8t級1台の更新、小形除雪車1.0m級の増車 生活に身近な安全を確保し、安定した道路除雪体制を構築するため、本交付金を活用し、老朽化した除雪ドーザの除雪機械の更新を行い、道路除雪能力の向上に努めます。また、歩道除雪延長増加に伴う小形除雪車1.0m級の増車を行い、冬期間の道路交通確保を図ります。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる 2 安全な道路網を確保する 施策の目標指標： 除雪機械の更新台数（累計）現在値 73台（令和3年度） → 目標値 95台（令和7年度） 目標値： 冬期間における快適な市民生活と社会経済活動を維持するため、安全で安心な道路交通を確保する必要があり、計画的に除雪車を更新するとともに、新規歩道除雪路線への除雪体制の強化を図り、認定除雪路線の除雪率100%を成果目標とする。			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度	令和4年度
事業期間の設定理由		—			
	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度
	冬期間において安全で安心な道路交通を確保する	令和4年度（2022年度）に認定する除雪路線に対する除雪車の配車率	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100

交付金事業の成果目標及び成果実績	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	交付金の活用により、老朽化した除雪ドーザ11t級、除雪ドーザ8t級の更新及び小形除雪車1.0m級の増車を行い、道路除雪能力（作業効率）の向上されたところから、次年度以降の道路交通の更なる安全の確保を図ることができました。今後も老朽化した除雪機械の更新を行うことにより、劣化や老朽化に起因する故障や作業能力の低下によって発生する除雪時の交通障害を無くし、市民生活に必須の冬期間道路交通の更なる安全の確保を図ります。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	無					
	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	除雪機械更新台数	活動実績	台	2	3	3
		活動見込	台	2	3	3
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備 考		
総事業費	40,590,000	27,500,000	67,364,000	令和2～令和4年度総事業費 135,454,000		
交付金充当額	30,000,000	20,000,000	50,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	30,000,000	20,000,000	50,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額		
除雪ドーザロータリーアタッチメント付き(11t級)		指名競争入札	吉祥天（株）	39,578,000		
除雪ドーザスノーバケット付き(8t級)		指名競争入札	(株) 柏新商会	15,620,000		
小形ロータリー除雪車(1.0m級)		指名競争入札	(株) コバリキ	12,166,000		
交付金事業の担当課室		都市整備部道路維持課				
交付金事業の評価課室		都市整備部道路維持課				

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称					
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	田尻保育園整備事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市					
交付金事業実施場所		柏崎市大字安田					
交付金事業の概要		田尻保育園の移転改築に係る業務委託（設計業務委託及び地質調査業務委託）。田尻保育園の老朽化が進んでいることから、近隣の三ツ家農村公園の敷地に田尻保育園を移転改築します。令和5年度に予定する改築工事に先立ち、令和4年度は設計業務及び地質調査業務を委託します。将来にわたり安心して保育ができる施設環境を整備し、子どもを産み育てやすい健やかな環境をつくります。また、田尻保育園の移転改築により、近隣の保育園との将来的な統合の検討が可能になります。園児数の増加により、集団の中で園児の成長を支援する機能を十分に発揮することができるため、更なる保育の質の向上が望めます。					
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる 目標値：田尻保育園を移転改築し、子どもを産み育てやすい健やかな環境をつくる。 移転改築後の園児数 200人					
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度		令和6年度		
事業期間の設定理由		－					
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和6年度
		移転改築後の園児数200人	移転改築後の入園児数	成果実績	人数	－	
				目標値	人数	200	
				達成度	%	－	
		評価年度の設定理由					
		成果実績を測定し次第、評価を実施。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
		本交付金の活用により、田尻保育園の新園舎建設に必要な工事設計及び地質調査が完了しました。今後は、令和6（2025）年度の移転改築完了に向け、建築工事を行い、安心して保育ができる施設環境の整備を進めてまいります。					
		評価に係る第三者機関等の活用の有無					
		無					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	
	事業進捗率	活動実績	%	3.4%	
		活動見込	%	3.4%	
		達成度	%	100.0%	
交付金事業の総事業費等		令和4年度			備 考
総事業費		32,375,200			
交付金充当額		20,000,000			
うち文部科学省分		0			
うち経済産業省分		20,000,000			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額	
田尻保育園改築工事設計業務委託		指名競争入札	株式会社 村田建築設計事務所	24,754,400	
田尻保育園改築工事地質調査業務委託		指名競争入札	株式会社 キタック	7,620,800	
交付金事業の担当課室		子ども未来部保育課			
交付金事業の評価課室		子ども未来部保育課			

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	宝田北斗町線整備事業	柏崎市	197,236,018	195,000,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	佐藤池野球場整備事業	柏崎市	64,521,600	55,000,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	東部児童クラブ整備事業	柏崎市	96,737,300	70,000,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大日川改修事業	柏崎市	22,696,300	10,000,000	

Ⅱ．事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	宝田北斗町線整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市		
交付金事業実施場所		柏崎市宝田、美穂田、東柳田		
交付金事業の概要	都市計画道路宝田北斗町線の道路新設工事 （用地買収A=13,038.52m²、物件補償N=1式（駐車場照明、舗装等）） 柏崎市街地の交通渋滞の緩和等を目的に、国道8号柏崎バイパスを中心とした幹線道路ネットワークの整備が進められています。中心市街地と国道8号柏崎バイパスを繋ぐ重要な路線である本路線を、国道8号柏崎バイパスの供用開始に合わせ整備します。			
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	交付金事業に係る主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3編 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる 1 社会基盤を機能的に整備する 目標値：都市計画道路の改良率 70.5% （令和4年3月現在：69.1% 柏崎市の都市計画より）			
事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度	令和9年度
事業期間の設定理由	令和9年度の完成を予定しているため			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度
	都市計画道路の改良率 70.5%	改良延長÷ 全延長	成果実績	令和9年度
			目標値	-
			達成度	70.5
	100.0%			
	評価年度の設定理由			
	成果実績を測定し次第、評価を実施。			
	交付金事業の定性的な成果及び評価等			
	本交付金の活用により事業に必要な用地A=13,038.52m² (98.11%)の取得と物件補償が完了しました。これにより、本事業の全体事業費に対する進捗率は21.7%となりました。次年度は道路改良関連工事（排水路工事等）を行う予定です。中心市街地と国道8号柏崎バイパスを繋ぐ重要な路線である本路線を、国道8号柏崎バイパスの供用開始に合わせ供用できるよう、計画的な事業執行に努めます。			
	評価に係る第三者機関等の活用の有無			
無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業進捗率		活動実績	%	2.9%	3.9%
			活動見込	%	2.9%	3.9%
			達成度	%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備 考	
総事業費		26,763,000	35,816,000	197,236,018	令和2～4年度総事業費 259,815,018 事業期間総事業費 910,704,000	
交付金充当額		15,000,000	30,000,000	195,000,000		
うち文部科学省分		0	0			
うち経済産業省分		15,000,000	30,000,000	195,000,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
用地買収、物件補償		随意契約		用地買収31人、物件補償1人		197,236,018
交付金事業の担当課室		都市整備部都市計画課				
交付金事業の評価課室		都市整備部都市計画課				

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	佐藤池野球場整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市大字佐藤池新田				
交付金事業の概要		老朽化したスタンド屋根の撤去、新設と鉄骨の塗装の改修を行い、併せて防鳥用のネットを新規に設置。施設の老朽化、陳腐化を防ぎ、利用者（野球選手、観戦者）の安全面及び利便性の向上を図ります。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第4章 教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ 2 全国や世界に通用する競技者を育てる 目標値：佐藤池球場利用者数19,354人				
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度 令和4年度		
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度
		会場利用者数 19,354人	会場利用者数	成果実績	人	21,822
				目標値	人	19,354
				達成度	%	112.8%
		評価年度の設定理由				
		成果実績を測定し次第、評価を実施。				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		交付金の活用により佐藤池野球場の適切な施設維持管理を図ることができました。老朽化で屋根と鉄骨部分が接合されていない箇所が多くあり強風で破損する恐れがありましたが、屋根を新設したことで強風での被害の恐れがなくなり、利用者（選手や観客者）や近隣住宅への安全が確保できました。また、鉄骨を塗装したことにより施設の保全にもつながりました。併せて野鳥対策として防鳥ネットを設置したことにより観客者の糞害やスタンドベンチなどの清掃（維持管理）の軽減につながります。 今後も利用者の安全確保を第一に利便性の向上と競技力の強化につながるよう市内体育施設の環境整備を行い、全国や世界に通用する競技者の育成、強化を目指していきます。				

	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度		
	工事進捗率	活動実績	%	100		
		活動見込	%	100		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	令和4年度				備 考	
総事業費	64,521,600					
交付金充当額	55,000,000					
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	55,000,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
佐藤池野球場スタンド屋根改修工事		制限付き一般競争入札		丸高建設株式会社		64,521,600
交付金事業の担当課室		教育委員会スポーツ振興課				
交付金事業の評価課室		教育委員会スポーツ振興課				

Ⅱ．事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	東部児童クラブ整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市春日三丁目地内			
交付金事業の概要		東部児童クラブの新築工事（建築本体、電気設備、機械設備）。 既存の東部児童クラブの立地場所では、通所及び送迎時の支障が非常に多くあることから、槇原小学校の敷地内に児童クラブを新設します。 将来にわたり安心して放課後児童健全育成事業が実施できる施設環境を整備し、子どもを産み育てやすい健やかな環境をつくります。			
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる 目標値：整備が必要な児童クラブ1箇所の整備			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度	
事業期間の設定理由		—			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度
	整備が必要な児童クラブ1箇所の整備	整備が必要な児童クラブの箇所数	成果実績	箇所	1
			目標値	箇所	1
			達成度	%	100.0%
	評価年度の設定理由				
	成果実績を測定し次第、評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	既存の東部児童クラブは、学校から約400m離れた地区の集会所を借用して運営しているが、道路に歩道がないことに加え、大型車両の交通量が多いなど、以前から安全面に課題がある施設となっていました。 交付金を活用し、小学校の敷地内に児童クラブを新設したことにより、安全面の課題解決を図ることができました。また、送迎もしやすくなるなど保護者の利便性も高めることができました。 今後も児童と保護者が安全に安心して児童クラブを利用することができるよう施設環境を整備し、子どもを産み育てやすい健やかな環境をつくってまいります。				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度		
	工事進捗率	活動実績	%	100%		
		活動見込	%	100%		
		達成度	%	100%		
交付金事業の総事業費等		令和4年度			備 考	
総事業費		96,737,300				
交付金充当額		70,000,000				
うち文部科学省分		0				
うち経済産業省分		70,000,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
東部児童クラブ新築（建築本体）工事		制限付き一般競争入札	(株)阿部建設		73,785,800	
東部児童クラブ新築（電気設備）工事		制限付き一般競争入札	丸万電機(株)		9,097,000	
東部児童クラブ新築（機械設備）工事		制限付き一般競争入札	(株)柏崎設備工業		13,854,500	
交付金事業の担当課室		子ども未来部子育て支援課				
交付金事業の評価課室		子ども未来部子育て支援課				

Ⅱ．事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大日川改修事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市大字花田			
交付金事業の概要		普通河川大日川の河川改修工事 暗渠工（L=7m） 国道8号横断部の流下能力不足による浸水被害を軽減するため、バイパス水路を新設し、治水安全度を向上させると共に必要流下能力を確保します。			
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる 2 自然災害に備えた対策を進める 目標値：土合新田排水路から普通河川大日川国道8号横断上流部までの213.3m区間の計画流量 12.88m³/s			
事業開始年度		令和3年度		事業終了（予定）年度 令和7年度	
事業期間の設定理由		令和7年度完成を予定しているため			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和7年度
	対象区間の計画流量 12.88m³/s	河川流量	成果実績	m³/s	-
			目標値	m³/s	12.88
			達成度	%	100.0%
	評価年度の設定理由				
	成果実績を確認し次第、評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	本交付金の活用により、普通河川大日川の河川改修工事を実施し、全体計画延長L=213.3mのうち、令和3年度は延長80.0mの施工が完了し、今年度は延長7.0mの施工が完了しました。来年度以降、残るL=125.3mの河川改修を順次実施することで、対象区間の計画流量12.88m³/sを確保し、周辺地域の治水安全度の向上できるよう努めてまいります。				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	工事進捗率	活動実績	%	37.6%	3.3%	
		活動見込	%	37.6%	3.3%	4.2%
		達成度	%	100%	100%	0%
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
総事業費		42,746,000	22,696,300		令和3～4年度総事業費 65,442,300	
交付金充当額		35,000,000	10,000,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		35,000,000	10,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
河川改修工事		一般競争入札		(有)開成工業		22,696,300
交付金事業の担当課室		都市整備部道路河川課				
交付金事業の評価課室		都市整備部道路河川課				